

## ユーロビジョン・ソング・コンテスト

オリビア・スナイダー

皆さんは音楽を中心とした番組を見るのが好きですか？日本には年1回放送される「紅白歌合戦」以外に、「のど自慢」や「SONGS」など様々な音楽番組があります。アメリカでも同じように、「アメリカン・アイドル」や「Xファクター」などの音楽番組が大人気です。そこで今回紹介したい番組はヨーロッパで毎年開催される「ユーロビジョン・ソング・コンテスト」です！

ヨーロッパ大陸には50カ国あります。これらの国はユーロビジョンに応募することができ、応募した各国からは1人または1グループの競技者がコンテストに出場します。競技者たちはオリジナルの曲を演奏し、予選と準決勝を勝ち抜いた競技者は決勝戦で他の国のパフォーマーたちと戦います。パフォーマーが終わった後には、コンテストに参加した各国の審査員が一番良かったと思った競技者に点を与え、そのうえ一般視聴者からの投票もあります。最後に、一番点数が高い歌手がコンテストの勝者となり、トロフィーをもらいます。優勝した国は、翌年のコンテストをホストする形式になっています。

ユーロビジョンの目的は、ヨーロッパの全ての国や人々の心を、音楽を通して繋ぐことです。平和と団結のメッセージを中心に毎年コンテストが開催されます。ヨーロッパ中にはユーロビジョンのファンが多いですが、アメリカではユーロビジョンを聞いたこともない人が多いと思います。私もほぼ知らなかったですが、ファンの友達がいるため、去年からコンテスト

を観るようになりまし。1956年から開催されているユーロビジョンの歴史を調べていたら、「ダンシング・クイーン」の名曲を作り、世界中で愛されているバンドABBAなど、万人に知られている数名の歌手は実はユーロビジョンの優勝者であったことを知りました。

ユーロビジョンに登場する多くの競技者は、普段の音楽パフォーマンスに比べるとスタイルが大きく異なります。ユーロビジョンは「camp(キャンプ)の雰囲気売り込んでいます。『キャンプ』とは「奇抜な演出をすることで、洒落た娯楽を提供するさま」を意味しています。つまり、ユーロビジョンの多くのパフォーマンスは、少し変わった曲、コスチューム、メイク、踊りの振り付けなどが出てきます。ユーチューブで全てのパフォーマンスを観ることができるので、是非皆さんも過去のユーロビジョンの演奏を観てみてください！

なぜ「アジアビジョン」など、他の大陸はユーロビジョンのようなソングコンテストを開催しないのか、と思いましたが、日本の歌手対韓国のK-POPアイドル、インドやフィリピンの歌手との音楽バトル、絶対に面白いと思います。しかし、他の大陸で開催することが難しい理由は、言語の壁です。ヨーロッパの国は全て英語が話せるため、英語でホストし、英語でテレビ放送しても問題はないですが、アジアのような多様な言語が存在する大陸では、このような放送はとても難しいです。いつか実現するところですね！

夏休み  
体験講座

## 「土器作り体験」

粘土で土器を作りながら縄文文化や市の遺跡について学ぼう！

- 対象** 市内在住の小中学生（保護者同伴可）  
先着40人
- 日時場所** 8月3日(土)13時半～15時半 松の館
- 講師** 一戸広臣氏（津軽亀ヶ岡焼しきろ庵）
- 講座内容** 陶芸用粘土で縄文土器を作ります。完成した土器は講師が窯で焼成し、参加者へ後日返却します。受け取り場所は松の館です。
- 持ち物等** 手拭きタオル
- 申し込み** 7月29日(月)までに文化財課へ電話でお申し込みください（先着順）。  
受付時間は平日8時半～17時15分

【申し込み・問い合わせ先】文化財課 電話49-1194

## 「縄文ジュニアガイド体験」

縄文遺跡のガイド活動を体験してみませんか？

- 対象** 市内在住の小学3～6年生  
（保護者同伴可）先着20人
- 日時場所** 8月6日(火)13時～16時  
松の館・亀ヶ岡遺跡
- 講座内容** 縄文遺跡に関する基礎知識の講義を受け、遺跡へ移動。遺跡ボランティアガイドの解説を見学してガイド解説の実践にチャレンジします。
- 持ち物等** 不要
- 申し込み** 8月2日(金)までに文化財課へ電話でお申し込みください（先着順）。  
受付時間は平日8時半～17時15分

# ALT退任のメッセージ



ミッシェル マッカーティー  
**Michelle McCarty**さん

5年前につがる市へ来たときは、遠く離れた土地での生活に不安もありましたが、優しい先生方やつがるの人たちのおかげで、大丈夫でした。この土地で経験したたくさんの素晴らしいことは、一生忘れることはないでしょう。

私が去った後も、生徒たちが英語の勉強を続け、視野を広げてくれることを願っています。世界は広く、面白いこと、楽しいこと、新しい発見がいっぱいある！

ありがとう、そしてヘバネ！つがる市。

任用期間：令和元年7月29日～令和6年7月28日  
訪問校：木造中・向陽小

私がスーツケースを持ち、青森空港から出た時、「きっとここで色々新しい経験ができるなあ」と考えながらワクワクしていた覚えがあります。その瞬間から2年間は、米の収穫の手伝いや馬市まつりなど地元のニューヨークでは想像出来ないような経験をさせていただきましたが、つがる市で一番思い出に残るのはイベントではなく、人との出会いです。学校や教育委員会の先生方、地域の方にも沢山お世話になりました。

「だはんで」や「けっぱれ」など津軽弁が分かるようになってきた時に別れるのは悲しいですけど、東京に行ってもつがる市を日本の地元だと考えています。

2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

任用期間：令和4年7月25日～令和6年7月24日  
訪問校：森田中・森田小・柏中・柏小



ヘンリー アディントン  
**Henry Addington**さん

青森に来たのは24歳の時でした。つがる市で生活を始めたときは、日本語もただどしどし話しかけました。あれから1年が経ち、思っていた以上に色々な面で成長することができました。今、私は多くの責任のある仕事を任されています。

また、この1年間で、たくさんの素晴らしい人々に会うことができました。

私がここまで成長できたのは、つがる市の皆さんの優しさとおかげだと思っています。つがる市の皆さんはやる気に満ちており、そのエネルギーは私に、いつまでも居心地のよい空間にとどまっているのではなく、そこから抜け出し、新しい経験をするためのきっかけを与えてくれました。剣道の練習や図書館での読み聞かせなど、自分一人ではできないことをすることができました。

今の私があるのは、これまでの経験と多くの方々のサポートのおかげです。東京に憧れる人はたくさんいますが、大切なのは場所ではなく人だということに気づくことができました。ALTとしてつがる市で過ごすことができ本当に良かったと思います。ここでの思い出と経験は私にとって特別に重要なものになりました。大変お世話になり、誠にありがとうございました。本当にありがとう。



ベンジャミン アガード  
**Benjamin Agard**さん

任用期間：令和5年7月31日～  
令和6年7月30日  
訪問校：木造中・穂波小・瑞穂小